

つれづれ

平成29年6月27日(火)

誇りと気概



先日、6月21日は夏至でした。夏至は一年の内で最も昼の時間が長く、夜の時間の短い日です。この季節を迎えると、今年も折り返し点を迎えたなと感じます。梅雨はこれからが本番。蒸し暑い日も多くなりますが、天候に左右されず、1学期をしっかりとめくってください。

さて、「銀河鉄道スリーナイン」の作者である松本零士さんが、過去にこんなことを述べていました。

「敗戦以降、今日に至るまで、かつてあったような日本人の誇りや気概は失われたままなのではないでしょうか。……」

ここで言う誇りとは、「仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌」といったものは、と私なりに解釈しています。

仁は慈しみ、思いやりの心。義は、物事の道理にかなったこと。礼は規範や作法、敬意を表すこと。智は物事の是非・善悪を判断する心。忠は真心。信は欺かないこと。孝は親を大切にすること。悌は年長者に対して従順で、兄弟の仲むつまじいこと。

これらは、江戸時代後期、滝沢馬琴に著された小説、「南総里見八犬伝」にも書いてあった八つの徳目です。また、気概は困難に負けない強い気力のことです。

これらの徳目や気概は、日本人だけでなく、世界中の誰にとっても大切なことではないでしょうか。

価値観の多様化という名のもとに、人として大切であるべき価値観が薄れてきている昨今。松本さんも、そのようなことに憂いを感じているのでしょう。

これからの時代を生きていく皆さんには、人の道理として正しいこととは何かをしっかりと考え、困難に負けずに未来を切り開く人物になってほしいと思います。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP→<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>